

2022 年夏季語学留学/レオン大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

教科書に沿って授業をする先生をいれば、全く違うことをする先生もいました。内容は春学期に習ったことと同じ内容が 9 割、残りの 1 割は現在進行形と過去形でした。

1限目が 9 時～11 時まで、30 分休憩、2限目が 11 時 30 分～13 時 30 分までの午前中で授業は終わります。私のクラスは A1~A2 のレベルでした、1 限目が Gramática の授業、2限目が Comunicativo の授業でした。先生は殆ど固定でしたが変更もありました。1 限目は、演習問題をし、答え合わせと同時に先生から解説を受けるという進め方です。テストはなくプリントを各自行い先生に添削をお願いする課題はありました、強制ではないです。2 限目は、他の留学生と交流、話すことメインの演習をします。この授業は最後に長文とリスニング、作文の軽いテストがありました。点数は関係なさそうでした。

10 人程度の習熟度別クラスで、一日二時間ずつ文法とコミュニケーションの授業が行われた。どちらの時間も学生が中心となって進めていく形で、やりたいことや日常生活で気になったことを質問したことから始まる授業などもあってよかった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス人数は自分を含め 5 人 全員日本人でした。

私のクラスは最初の 2 週間程度は 14 人でした。日本人が私を含めた外大生が 2 人、沖縄の学生が 1 人、その他はインドネシア、カメルーン、イギリス、中国、の方が 1 人ずつ、アメリカ 3 人、フランス 2 人でした。日本、インドネシア、カメルーンの学生は最終日まで固定でしたが、その他の方々はそれぞれの国で先生をしている方々で 2 週間程度のコースだったのか、入れ替わりがありました。その後は、イギリス、ウェールズ、フランスの同じ先生をしている方が 1 人ずつ 1 週間程度同じクラスでした。

1 クラス 10 人程度で書くクラスに日本人は 2、3 人。日本人よりほかの国の方が圧倒的に多く、主にヨーロッパ圏の方が多かった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本の授業は当てられて発言するという形ですが、当てられてから発言するのではなく自ら問題の答えを言っていくスタイルでした。先生が問題を読んでもくれる人？などと聞く時には積極的に手を挙げて読むべきです。

積極性が非常に大切だと思いました。分からない単語があれば、電子辞書で調べるのではなく、先生に直接聞き意味を学ぶ方が練習になると思います。他国の学生たちは非常に積極的ですし、自分のタイミングでわからないことがあれば先生に質問します。例えば自分の話す言葉が間違っているかも知れなくても発言し、質問すべきだと思いました。日本の学生は文法が得意でスピーキングとリスニングが苦手というのを肌で感じました。授業は日本のよりもコミュニケーションを大切にすると感じました。地方によって使う時制や使わない時制があることを知ることができてためになりました。

いつでも質問できる雰囲気。日常会話で使える表現や流行など、現地でのリアルタイムな情報を知れる環境。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

現在進行形です。

Comunicativo の授業で自分がマンションを誰かとシェアする想定で自分の欠かせない条件や相手に求める条件などを考え、留学生同士で質問し合い、最終 1 人を選ぶトピックが印象に残っています。実用性があり、練習になりました。

スペインの地域によって使う文法に違いがあること。例えば、今日やったことを伝えるときには、点過去ではなく現在完了を使うと習ったけど、レオンでは今日のとも点過去で表す、ということを知った。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

とにかく誰よりも発言して誰よりも積極的に授業に参加しました。文章を読む時も下手でもいいからとにかく読む、問題の答えを答える時も間違っていないから答えるということをしていました。

わからない単語や表現があったときは先生に質問すること。知らない単語はすぐにメモって帰ってから調べるかその場で聞くこと。携帯のメモに1日ずつ初めて知った単語や表現などを、都度メモを残しておいて、帰ってからも調べられるようにしておくこと。

分からない単語はすぐに聞くこと。意識したわけではないが、スペイン語で伝えたいことが伝わらないときに、違う観点から伝えたり、知っている文法を使って異なる聞き方をすること。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		徒歩	15-30分
0人		徒歩	0-15分
0人		徒歩	15-30分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
大きめのベッド、タンス、大きめのクローゼット	特になし
ベッド、クローゼット、勉強机、小さいタンス、腰掛け椅子	シャンプー、リンス、歯磨き粉、歯ブラシ、洗顔料など、除菌シート、除菌液、ポケットティッシュ
ベッド、タンス、クローゼット、タオル、机	服、タオル、洗面用具など

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

日本ではその日に着たもの(服、ズボン)を全て洗濯機に入れますが、1日しか履いていないズボンを洗濯機に入れようとするとホストファミリーにズボンは2回履いてから入れるんだよと言われて少し戸惑いました。

家の人の帰宅が夜遅いこと、お昼ご飯が14時~15時頃、夜ご飯が22時過ぎになること、23時過ぎてても子供が起きていること、お昼をたくさん食べて、夜は軽く食べること、温かいシャワーが出にくいこと

晩御飯が22:30頃だったので、それより先にお風呂に入ったり、洗濯が週に一回くらいだったこと

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

楽しくないと居づらかったりするので積極的に話すこと、自分の意見をちゃんと言うこと、気遣いです。ご飯の後は食器を片付けたり、シャワーの後は綺麗にしたりなどです。

事前にドライヤーの有無や洗濯回数やお風呂のルール、家のルールなどをメールなどで聞いておくことがお勧めだと思います。直接出会ってからもちんと聞くことが必要だと思います。何が食べたいかとか好きなものを聞かれたときは遠慮せずに伝えるべきだと思います。

分からないことは聞く、無理に合わせない(夜にお風呂に入りたいならそう伝えるなど)、家族と過ごす時間はなるべく削らない、洗濯機や食洗器など自分で使ってもよさそうなものは動画をとっておくと次使うときに便利。手伝えることは何でもする。

パソコンは 持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	不明	
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
EXCURSIONES がありレオンの街を大学の方が案内してくれました。また、レオンの郊外にも行くこともありました。(これだけ費用がかかりました)	学校近くのショッピングモール、30分休みに行ったカフェ、レオンのお土産屋さん
自由参加の大学主催のプログラムの遠足でレオンの観光地のほとんどを回ることができました。先生の説明付きで建築物などを見ることができたため、体調に余裕があれば参加すべきだと思います。スペイン語での説明なので勉強にもなります。わからなかったら英語やもっと噛み砕いたスペイン語で再度説明してくれるため、非常に勉強になりました。	よく訪れていた場所は calle ancha という通りの valor というカフェによく訪れていました。この通りはお土産屋もたくさんあります。plaza mayor や bario humed の bar がいいところが多い。お土産は学校近くの el corte inglés などを買うといいと思います。スーパーもあります。少しバスに乗ればもう少し大きい centro comercial もあります。El Patio がお勧めです 1.5€ ~ 2€ で美味しいモーニングを食べることができます。夜も美味しいと聞きました。Nimú azotea というお店で素敵な景色を見ながら食べることができます。予約が必要な時間帯があります。
週に 2 回くらい放課後に小旅行があった。町の重要な建物や自然が豊かなところに連れて行ってきて説明も聞いた。基本的に無料だったが、一回だけ有料だった。	夕方くらいから友達と買い物に行ったり、バルに行ったりした。基本的に徒歩でどこでも行けた。お店やレストランが並ぶ通りがあったので、よくそこに行っていた。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
生活面では、ホストファミリーと毎日のようにメールをしていました。そのおかげで他の人よりもホストファミリーの関係がすごく良かったです。また、日本からお土産を持っていくとすごく喜ばれました。勉強面では、授業で習っていない文法を自分で学習しようと思いましたが、私の場合無理だったのでとにかく春学期に習ったことを復習しました。また、文法よりも日常会話のフレーズを覚えめました。
私は 4 年でスペイン語の必修授業をもう受けていなかったため、文法の振り返りを一通りしました。また海外での生活の注意点を調べたり、や経験がある人に聞いたりしました。荷物やクレジットカード、携帯の契約、SIM カードなどについて調べ準備しました。
スペイン語の復習

留学前にしておけばよかったと思う準備
生活面では、風邪薬を持っていかなかったのが風邪をひいた時にすごく後悔をしました。勉強面では、学校で使っている文法ならテキストなどを持って行ってもよかったのかなとも思いましたが、荷物になるので不要と言われれば不要かもです。
リスニングやスピーキングの勉強をもう少し重点的に行えばよかったと思いました。
スペイン語の復習(特に形容詞。料理の感想や自分の状態を伝えたいときにレポートリーがなさ過ぎていつも同じになってしまっていたから。)

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
ホストファミリーへのお土産、緑茶、おかし、味噌汁、湿布、カーペットなどの小さなゴミを取るコロコロ、小さめの箱ティッシュ、手を拭くためのペーパー

タオル
ポケットティッシュ、箱ティッシュ、除菌シート、自分の肌に合った化粧品や日焼け止め、軽く羽織れる服、日本のお菓子はお土産で喜ばれた
洗濯ネット

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
パソコン、バスタオル、お風呂の時のビーチサンダル	風邪薬
虫除けスプレー、電池、自分用のお菓子、学校の教科書、南京錠(マドリードやバルセロナに旅行に行くのなら、持って行き、カバンのチャックなどにつけた方が良くかも)	薄めのトレーナー(とても寒い日が数日間ありました)、保湿クリーム、持ち運び充電器、軽い水筒
特になし	爪切り

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
現金とキャッシュパスポート	現金 20 万円 キャッシュパスポート 5 万円
空港で日本円3万円をユーロに交換し持って行きました。その現金とクレジットカード、キャッシュパスポートというデビットカード、プリペイドカードのようなカードを使っていました。楽天のクレジットカードを持って行きましたが、使えませんでした。	現金3万円、キャッシュパスポートの口座には5万円振り込んでおき、追加で日本で母に2万円を振り込んでもらいました。
クレジットカード1枚、デビットカード1枚、現金	現金 5 万円程度

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
食費は朝昼晩が基本あるので友達と遊びに行く時にバルやレストランで払いましたが、バルは3ユーロ(約420円)、レストランは20ユーロ(約2800円)ほどでお腹いっぱいになります。ホストファミリーとご飯に行くときは払ってくれました。
住居費は現地では払っていません。食費は外食の時に支払った程度です。3万円ほど使ったと思います。

テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
テキスト代はプログラム費用に含まれていると思うのでわかりません。通学費は徒歩なのでかかりませんでした。
テキスト代は現地では払っていません。通学も徒歩だったので使っていません。遠足でサラマンカに行きました。その際に30€支払いました。
徒歩だったので通学費はなし、テキスト代はわかりません

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
基本お土産が7割、食費が3割
旅行には行けませんでした。お土産代や自分の買い物代として5万円ほど使いました。
レシート処分のため換算不可(多分2.5万円くらい)

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

初めはホストファミリーからの問いかけに何回も同じことを書いてしまい、はい か いいえ かの返答しかできなかったが、後半は一度で聞き取れるようになりわからない単語だけ聞き、自分の意見も言えるようになりました。

コミュニケーション能力は向上したと思います。自分で話そうという意識はつきましたし、羞恥心なども無くなりました。

留学前の目標とその達成度

留学前の目標はとにかく目の前のことを一生懸命に挑むことが目標でした。自分的に何事にも一生懸命取り組むことができずぐく実りの良い留学になりました。

目標は現地での生活に慣れること、そして簡単な会話を現地の方と交わせるようになることでした。現地の生活には慣れ、好きな場所やお店も見つけられるようになりました。現地の方々とのコミュニケーションは簡単な会話なら交わせるようになりました。リスニング力をもう少し高めなければならないと強く感じました。

留学を通しての成長ポイント

すぐ聞き取る力がついたと思います。留学前半はホストファミリーに何度も同じことを言ってもらってやっと理解できるという感じてましたが、留学後半になるとホストファミリーの言ったことを一度で理解することができるようになりました。それに関してホストファミリーにもすぐよく理解できるようになってるよと言ってもらい嬉しかったです。

自分で発信し、発言する力と間違いを恐れずまずやってみる力、リスニング力、スピーキング力が身につき、成長したと思います。まだまだですが、コツを掴めたように感じました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は小テストで良い点を取るため、上のクラスに上がるために勉強していました。留学中はとにかく授業中や休み時間に先生と話したり、ホストファミリーと話ることが楽しくて勉強していました。留学後はホストファミリーに来年の夏も来ていいよと言ってもらったのもっと話せるように音読や日常会話の勉強をしていきたいです。

留学前は少し恐怖がありました、留学中は恐怖心もありながら、楽しみだとか好奇心がありました。留学後はもっと語学を学びたいという意欲が湧いています。就職し、社会人になってからお金を貯めてまた語学留学をしたいと思っています。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

ホストファミリーと過ごす毎日、1日1日が私にとって100%でした。

他国の留学生と交流したり、スペインで日本語を学んでいる学生たちと交流したりした瞬間です。人見知りで自分から話しかけるのが苦手ですが、頑張って話しかけました。

留学先大学の良かった点

先生方がすごく優しくて親身になってくださりました。

優しくユニークな先生方が多く、この大学でよかったと思いました。